

**第 9 期 練馬区高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画
(令和 6～8 年度) の策定について
(たたき台)**

令和 4 年 7 月 26 日

第 4 回 練馬区介護保険運営協議会

1 区の現状

項目	区の現状
高齢者の現状	<ul style="list-style-type: none">■超高齢化の進行<ul style="list-style-type: none">・高齢者数 : R4年1月 約16.2万人 → R22年1月 20.2万人・高齢化率 : R4年1月 22.0% → R22年1月 25.7%・後期高齢者は、R11年以降に一旦減少傾向となるが、R17年から再び増加に転じ、R37年頃にピークを迎える見込み■65歳健康寿命 ※要支援1以上の認定を受けるまでの平均年齢<ul style="list-style-type: none">・R2年 男性：81.39歳 女性：82.80歳 (23区平均 男性：81.17歳 女性：82.81歳)■ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の増加<ul style="list-style-type: none">・【単身世帯】 R4年1月：54,807世帯 → R22年1月：90,097世帯・【高齢者のみ世帯】 R4年1月：30,554世帯 → R22年1月：35,992世帯■要介護認定者（第1号被保険者）の増加<ul style="list-style-type: none">・R4年1月：36,450人 → R22年度：41,845人※認定率は、前期高齢者の増加に伴ってやや減少する見込みだが、認定者数は増加する。<ul style="list-style-type: none">【高齢者全体の認定率】 R4年1月：21.9% → R22年度：20.8%【後期高齢者の要介護認定率】 R4年1月：35.8%（前期高齢者の要介護認定率：5.1%）■新型コロナウイルスの影響<ul style="list-style-type: none">・地域とのつながりの希薄化による孤独・孤立化が問題化

項目	区の現状
介護保険	<p>■介護保険料の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R5年度：月額6,600円 → R22年度：月額9,400円 <p>■介護給付費の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度：536億円 → R22年度：701億円
介護予防・健康づくり	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防取組状況 : R元年度 65歳以上は30.8%、55～64歳は20.1% ・ 介護予防の効果を感じている : R元年度 65歳以上は83.4%、55～64歳は75.0% ・ 取り組むために必要な支援 <ul style="list-style-type: none"> 【効果ある取組の紹介】 R元年度 65歳以上は28.1%、55～64歳は39.4% 【歩いて通える範囲での参加】 R元年度 65歳以上は26.1%、55～64歳は31.0% ・ 介護予防事業における男性の参加率が低い <p>■区を取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街かどケアカフェの充実： <ul style="list-style-type: none"> R3年度 区立施設活用 5か所、地域サロン活用 24か所、出張型街かどケアカフェ 25か所 ・ はつらつシニアクラブの充実：R3年度 実施35回 参加者数1,177人 ・ 【高齢者みんな健康プロジェクト】 R3年度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 後期高齢者糖尿病重症化予防事業：訪問支援者数 24人 ・ フレイル予防訪問相談事業 : 訪問支援者数 38人 ・ 健診未受診者等訪問 : 訪問支援者数 196人

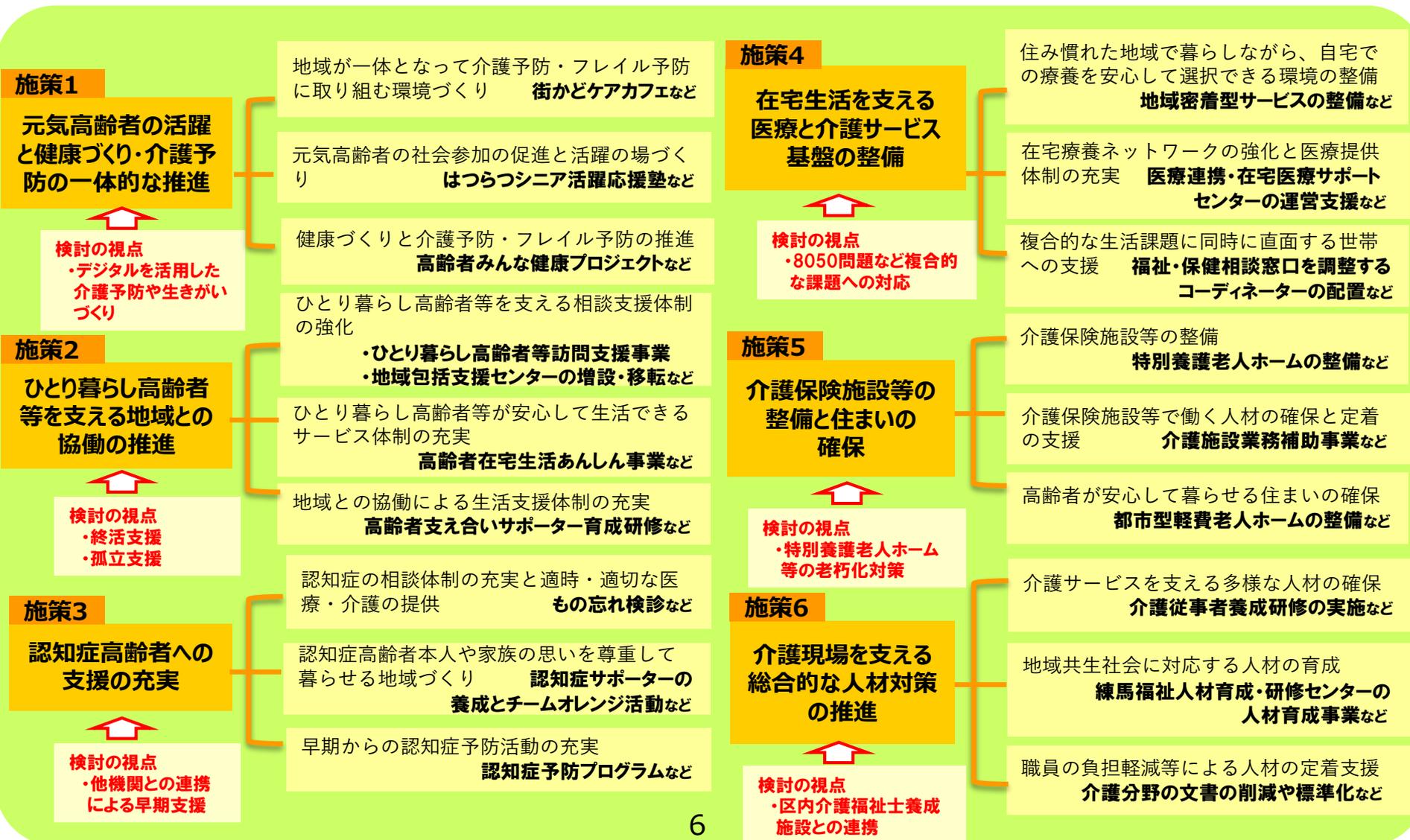
項目	区の現状
<p>元気高齢者の いきがづくり・就労支援</p>	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産年齢人口は、R10年の約50万6千人をピークに減少に転じる ・地域住民有志による健康づくりや趣味のグループ活動への参加意向：R元年度「ぜひ参加したい」「参加してもよい」の合計 50.5% ・仕事をしている人の働きたい年齢：R元年度「ずっと働きたい」が37.8%で最多、「71～75歳まで」「76～80歳まで」と続く。働く理由は「健康のため」が55.4%で最多 <p>■区の実組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はつらつシニア活躍応援塾：R3年度 修了者47名 ・シニアセカンドキャリア応援事業：R3年度 実施2回
<p>地域包括支援センター</p>	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で医療や介護の相談ができる体制づくりを進めるため、現在の25か所から27か所とするための準備をしている ・センターの相談件数（延べ件数）H30年度 165,157件 → R3年度 226,666件 <p>■区の実組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの移転・増設・担当区域の変更：R3年度 移転、増設の検討 ・ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業：R3年度 訪問件数10,876件/実施25か所
<p>医療・介護連携</p>	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定者（要介護1～5）を対象とした在宅療養の希望：H28年度 34.8% → R元年度 36.3% ・要介護認定者（要介護1～5）を対象とした医療の受診形態で「訪問診療・往診を利用している（通院なし）」の割合：H28年度16.0% → R元年度 17.0% <p>■区の実組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護小規模多機能型居宅介護の整備：R3年度 6か所 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備：R3年度 13か所 ・練馬光が丘病院跡施設における病院を含む医療・介護の複合施設の整備：R7年度 開設予定

項目	区の現状
認知症	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者の増加 認知症有病率 : R2年 17.2% → R22年21.4% 認知症高齢者数 : R2年 2.75万人 → R22年4.25万人 <p>■区の実組</p> <ul style="list-style-type: none"> もの忘れ検診 : R3年度 実施317人/139か所 認知症専門病院との連携 : R3年度 2か所
施設整備・住まいの確保	<p>■区の実組</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームの整備 : R3年度末時点 定員2,434人(34施設) 都内1位 R7年度目標 定員2,878人(38施設) 都市型軽費老人ホームの整備 : R3年度末時点 定員 270人(14施設) 都内1位 R7年度目標 定員 370人(19施設) 住まい確保支援事業 : R3年度 実施
介護人材	<p>■現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護人材はR7年には約1,700人、令和22年には約3,100人が必要な見込み（全国では、R7年度に約32万人、R22年度に約69万人必要） 介護サービス事業所調査(R元年度)において、職員状況は、大いに不足6.4%、不足21.1%、やや不足37.6%となっており、65.1%の事業所が不足していると感じている。 <p>■区の実組</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気高齢者介護施設業務補助事業 : R3年度 33施設 53名 介護従事者養成研修 : R3年度 実施3回 練馬福祉人材育成・研修センター事業 : R3年度 人材育成・確保・定着事業 実施 研修受講料・資格取得費用助成 : R3年度 各助成実施

項目	区の現状
介護者支援	<p>■現状</p> <p>在宅介護実態調査(R元年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な介護者の年齢：50歳以上 89.5%（70歳以上 35.1%） ・介護の頻度：ほぼ毎日 59.7% ・主な家族介護者の負担や困りごとの、「日中、家を空けることに不安を感じる」が46.9%で最多、「精神的なストレスがたまっている」、「自分の自由になる時間が持てない」と続く。 <p>■区の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護学べるサロン：R3年度 参加者数 71人 ・介護相談・交流カフェ：R3年度 参加者数 75人/10回

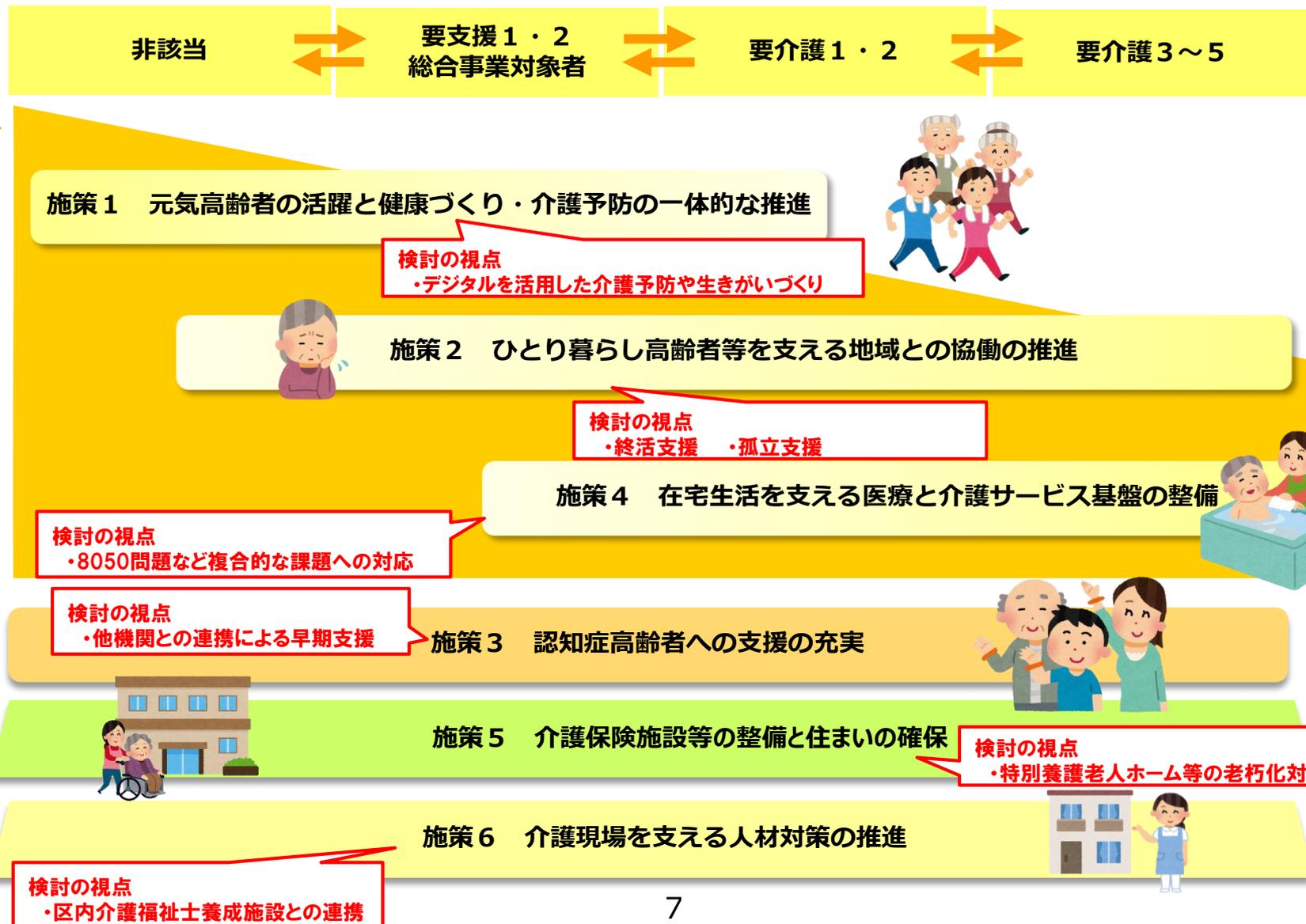
2 施策の検討イメージ

高齢者基礎調査や社会情勢を踏まえて課題や取組を整理し、今後の検討の中で施策としてまとめる。



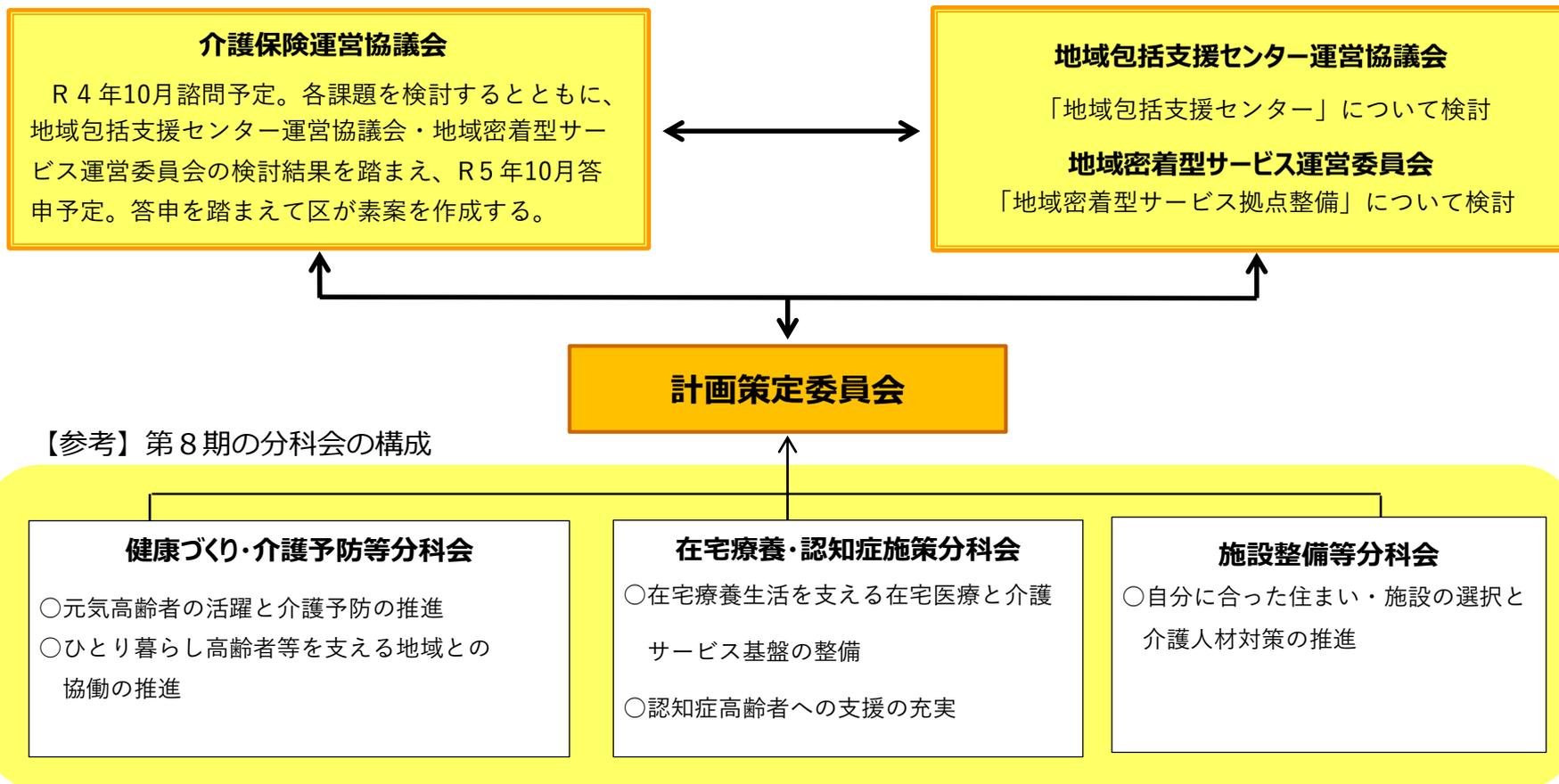
【例】施策が想定する主な対象者と高齢者の状態像を組み合わせたイメージ

< 高齢者の要介護認定の状況 >



3 検討体制のイメージ

- 第9期計画策定に向けた提言等を行うため、区長の附属機関である介護保険運営協議会、地域包括支援センター運営協議会、地域密着型サービス運営委員会が各々の所掌する課題について検討する
- 依頼を受けた審議機関による検討結果についての回答を踏まえ、介護保険運営協議会で答申を作成する



4 高齢者基礎調査等

- ・高齢者の生活状況やサービス利用の実態を把握することで、新たな施策について検討し第9期計画へ反映する
- ・日常生活圏域ごとにニーズを把握できるよう対象者を抽出する（高齢者一般、要支援・要介護認定者調査）
- ・ひとり暮らし高齢者向けの設問を設けることで、単身者特有の課題について把握する

	調査名	調査対象
1	高齢者一般調査	介護保険の認定を受けていない区内在住の65歳以上の高齢者【2,500人（うち単身者 1,000人）・65問程度】
2	要支援・要介護認定者調査	介護保険の認定を受けている区内在住の65歳以上の高齢者【5,000人（うち単身者 1,600人）・70問程度】
3	これから高齢期を迎える方の調査	介護保険の認定を受けていない区内在住の55歳から64歳までの方【800人・65問程度】
4	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	介護保険の認定を受けていない区内在住の65歳以上の高齢者 介護保険の認定を受けている区内在住の65歳以上の高齢者のうち、要支援認定者（総合事業対象者を含む）【4,500人・55問程度】
5	特別養護老人ホーム入所待機者調査	特別養護老人ホームの入所待機者【1,200人程度・65問程度】
6	介護サービス事業所調査	区内の全介護サービス事業所【1,100事業所・80問程度】
7	在宅介護実態調査	区内で在宅生活をしている要支援・要介護認定の区分変更および更新申請に伴う認定調査対象者とその家族【600人・20問程度】
8	施設整備調査	区内の介護保険施設等【350施設・15問程度】

5 スケジュール（予定）

年度	月	介護保険運営協議会	計画策定委員会	区議会	調査等
R 4	7月	第4回 計画の方向性・基礎調査項目の検討	第2回 計画の方向性・基礎調査項目の検討		
	10月	第5回 諮問、基礎調査実施の報告	第3回 分科会設置・基礎調査実施の報告	調査実施の報告	分科会による検討の開始
	11月				高齢者基礎調査開始
	12月				
	3月	第6回 基礎調査結果の報告	第4回 基礎調査結果の報告		高齢者基礎調査まとめ
R 5	4月	第7回 課題検討		調査結果の報告	
	5月	第8回 課題検討			
	6月				
	7月	第9回 課題検討			
	8月	第10回 答申作成	第5回 分科会報告		
	9月				
	10月	第11回 報告書・答申の提出			答申
	11月	第12回 計画（素案）の説明	第6回 計画（素案）の作成	計画（素案）の報告	
	12月				パブリックコメント
	1月		第7回 計画（案）の作成		区民説明会
	2月	第13回 計画（案）の説明		計画（案）の報告 関係条例の改正	
	3月	第14回 計画策定の説明			